

神女広報

CROSSROADS

vol.14

2012 Summer

神戸女子大学
神戸女子大学大学院
神戸女子短期大学
神戸女子大学教育センター



特集

教員養成制度改革に向けて

- 6 教育研究活動
- 12 学園トピックス
- 15 大学連携
- 16 地域連携
- 18 インフォメーション

「自立心・対話力・創造性」活力あるコミュニケーションで結ぶ学園広報誌

学校法人行古学園

■ ■ 教員養成制度改革に向けて ■ ■

神戸女子大学では、長年にわたり教員養成に力を注いでいます。最近では、平成18年7月11日付けで発表された中央教育審議会の答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」のなかの「教職課程の質的水準の向上」に主眼をおき、教職課程の改善・充実に向けた取り組みを進めてきました。

須磨キャンパスに平成19年度、学園教職支援センターを設置し、平成20年度から教員免許状更新講習を本実施に先駆けて開始しました。

また、ポートアイランドキャンパスの神戸女子短期大学で平成21年度から教員免許状更新講習を実施し、同キャンパスにも教職支援センターを平成23年度に設置しました。

今年度5月、新たに中央教育審議会 教員の資質能力向上特別部会から審議のまとめが発表され、全国の教員養成系大学は、教員養成改革をいっそう推し進めることが求められました。

教員養成を主たる目的として開設された文学部教育学科の現在の姿と今後の改革の方針を特集としてお知らせします。

教育学科は、昭和44年度に文学部の誕生とともに設置され、神戸女子大学でもっとも多くの卒業生を輩出してきました。現在の入学定員は165名、収容定員660名で、神戸女子大学では、もっとも多くの学生が在籍している学科です。

教育学科では、小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状の教員免許状が取得できます。

教育学科の開設時から、小学校教諭・幼稚園教諭を目指す学生が大多数を占め、現在も多くの卒業生が教員として小学校・幼稚園で活躍しています。

神戸女子大学では、教育学科以外の学部学科でも教員免許状の取得を目指す学生が多く、毎年、教育学科も含めて全学生の約半数が、教職課程を履修しています。

さらに、本学の大学院博士前期課程では、教職課程認定を受けており、課程認定科目の単位を取得して修了すると、一種免許状の既取得者はそれぞれの教科の専修免許状が取得できます。平成15年度には、学校教育学専攻科が開設され、1年間の修業で小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状の既取得者はそれぞれの専修免許状が取得できます。

「神戸女子大学の教員養成制度改革への動きについて」学長からひとこと

政府が進めようとしている教員養成制度の大幅な見直しを見越して、改革が目指している教職を目指す学生の質の保証に取り組む委員会を既に組織しました。全学科が関わる教員養成の在り方について改革の議論を深め、「教育の神女」としての期待に応える努力をして参ります。教職を目指す皆さんには、授業を通して教員の職務に求められる資質能力を確実に修得すると共に、地球的視野に立って、変化の時代に生きる社会人に求められる資質能力を、クラブ活動、ボランティア活動などの正課外の活動を通して培って欲しいと願っています。本学は、教職に対する強い情熱と、教育の専門家としての確かな力量や総合的な人間力を備えた教師を目指す皆さんを、全力を挙げて応援していきます。



神戸女子大学 波田 重熙学長

文学部教育学科

教育研究上の目的

(1) 人材養成の目的

- ① 教えるとはどのような行為であり、人間の発達とはどのような過程なのかを深く考え、また、地域に根ざした教育体験を通して人間のあり方・生き方について主体的に考えることのできる人材を養成する。
- ② 子どもの発達過程全体を対象とした教育・研究に基づいて、実践的指導力を持つ小学校・幼稚園教諭、保育士の育成及び専門的知識と幅広い教養を持つ人材を養成する。
- ③ 子どもの心がわかる保育・教育実践家として、自立心・対話力・創造性を発揮できる人材を養成する。

(2) その他の教育研究上の目的

- ① 「小学校」「幼児教育」「心理学」の3つのコースを軸としながら、コース制を超えた履修による幅広い教育・研究を行う。
- ② 乳幼児期から老年期にいたるライフサイクルの諸段階における「人間形成」にかかわる様々な課題を「科学的」「人間的」「総合的」に探究するとともに、人間と社会の在り方について広い視野を形成できる教育・研究を行う。
- ③ 様々な実習を通して、実践的指導力を養う教育を行う。

教育課程編成・実施の方針

グローバルな視野を持ち、子どもの発達過程全体を対象とした教育・研究に根ざし、実践的な指導力を持つ小学校・幼稚園の教員や保育士を育成するとともに、専門的知識と幅広い教養を持ち様々な職業分野で活躍できる人材の育成を目標にして、それらの能力の向上を図るカリキュラムを策定する。

- ① 教育学科は「小学校コース」「幼児教育コース」「心理学コース」からなり、ゆるやかなコース制をとっているため、他のコースの科目も履修することにより、教員あるいは保育士として幅広い能力の育成を目指す。
- ② カリキュラムは、学問領域としての教育学と心理学の基幹科目群に加えて、幼児教育関連科目、初等教育関連科目、心理学関連科目によって構成する。
- ③ 専門科目は、A基礎理論・研究法、B教育実践理論・指導法、C専門技術・方法に関する科目から構成し、これらを総合し、有機的な理解を深める科目として、3年生から少人数による講読・演習、卒業論文を必修科目として設定する。
- ④ 教員や保育士としての適性、意欲、資質を自己確認し、実践的な指導力を養うために、教育実習とは別に、小学校、幼稚園、地域と連携を図り、学校観察実習(スクールサポーター)、幼稚園観察実習、発達理解実習(親子通所センター)を正規のカリキュラムに連動させる。

学位授与の方針

以下の能力が身につく、学科のカリキュラムに定められた所定の単位を修得し、卒業論文の審査に合格した者に学位を授与する。

- ① 教育学・保育学・心理学の専門分野を総合的に理解し幅広い教養を身につけ、成長や発達を科学的に理解し、多角的な視点から柔軟な発想と感性から人間をとらえる力が身についている。(教育学・心理学・保育学の知識)
- ② よりよい社会をつくるために社会の有り様から教育を見直す洞察力を持ち、実践的指導力を備えている。(自立心・対話力・創造性)

『履修の手引き』より抜粋

実績

教員免許状取得者数(※1)・・・過去5年分

平成19年度卒	338人(小185人)
平成20年度卒	343人(小190人)
平成21年度卒	270人(小123人)
平成22年度卒	304人(小126人)
平成23年度卒	269人(小131人)

()内は小学校教諭免許状取得者数

※1 学部卒業生一括申請人数

教員就職実績(※2)・・・過去5年分

平成19年度卒	140人(小61人)
平成20年度卒	138人(小77人)
平成21年度卒	105人(小68人)
平成22年度卒	100人(小54人)
平成23年度卒	90人(小40人)

()内は小学校教諭就職実績

※2 数は現役学部学生(非正規含む) 平成23年度は4月現在把握数

新任の教員として活躍しています

山田 真子さん 平成24年3月 神戸女子大学文学部教育学科卒業
平成24年4月から神戸市内の小学校に勤務



◎ 小学校の先生になりたいと思った動機を教えてください

私が「先生」という職業を意識したのは、小学生の頃です。問題が分からない友達に自分が教えたことで、その子が見せてくれた「分かった」という笑顔は今でも覚えています。「小学校の先生になりたい」という思いを強めてくれたのは、大学2年生から始めた「神戸市スクールサポーター」です。活動の中で、「教師」は子どもの成長を肌で感じ子どもと共に成長の喜びを分かち合うことの出来る存在なのだと感じたからです。

◎ 教員採用試験に合格するためにどのような勉強をしましたか

私が本格的に試験勉強を始めたのは3年生の3月末と遅かったため、効率よく勉強すること、自分に不足しているものを補うということを中心に掛けていました。まずは過去問などで自分の実力を知り、事前に収集した志望する地域でよく出題される教科や分野の情報を基に、力を入れるところを絞りました。過去問とは異なる視点で問われても解けるように、試験直前はとにかく問題演習を行いました。

4年生になると採用試験に備えた演習、実技の授業が開講されるので、自分の志望地域の試験内容や自身の勉強状況に合わせて授業を履修することをお勧めします。また、教職支援センターでワークショップとして面接や集団討論の練習が行われるので、雰囲気を楽しむためにも一度は参加するべきです。



教職支援センターで勉強中です

◎ 卒業論文の題目とその研究した内容を小学校の先生になってどのように生かしたいですか



卒業記念祝賀会で卒業論文指導の入江 昌明教授と一緒に

卒業論文の題目は「学校教育で求められる算数教科書の在り方」です。教育現場における教科書の役割を踏まえ、学校教育で求められる算数教科書について考察しました。まだ指導の経験が少ない私には、これといって答えを追究することが出来なかったため、これからの教員生活の中で、自分なりの教科書の在り方を見つけたいと思います。

◎ どんな教員を目指したいですか

つぎの3つの教師像を目指していきたいと考えています。

- ・子どもに対する愛情を注ぎながら童心を忘れない教師
- ・様々な場面で手本となる姿勢を示すと共に責任をもつことのできる教師
- ・全ての児童に受容の精神を示す教師

子ども達の学びや気付き、可能性を広げることを大切にしていきたいです。

◎ 教員を目指す後輩の皆さんへのメッセージをお願いします

私にとって試験勉強は「自分を見つめ直す期間」でした。打ち込んだ分だけ自分に返ってきます。勉強に限らず、アルバイト、ボランティア、部活など、何かに打ち込んでください。自分の体験をどこかで話すことが出来るのが教員ですからね。自分の目指す教師像をしっかりと持って、子ども達の笑顔のために頑張ってください!!

◎ 最後に学生生活の感想をお聞かせください

学生は、しっかりと勉強することのできる最後の期間であり、自分の時間をもつことが出来る立場だったのだと今更ながら実感しています。もう一度やり直すことが出来るのであれば、もっと多くの本を読んだり、様々な場所を訪れたりしたいなと思います。でも、自分の世界を広げてくれたこの4年間の学生生活は大満足です。

得意な分野を伸ばすこと、幅広く教養を高めることで人間性を磨きます 特色ある科目や授業を紹介します

理科実験に強い教員を目指しています

「理科離れ」が進んでいるといった声が聞かれ、日本の科学技術研究や産業の基盤を揺るがす深刻な問題として、教育界のみならず産業界からも危機感が表明されるようになってきました。

神戸女子大学では、小学校教諭として必要な理科基礎実験の知識や技術が習得できるように「理科概説」「理科教育法」では実験を中心とした授業を行っています。学生は、20～25名のクラスに分かれてローテーション方式で毎週、物理・化学・生物・地学を受講しています。担当の教員は、少人数で行う実験で学生一人ひとりに行き届いた指導を行っています。



物理学分野の実験(電気の基礎実験)



化学分野の実験(固体の精製、再結晶)



生物学分野の実験(消化と酵素)

英語も教えられる教員を目指しています

平成23年度より新小学校学習指導要領が全面実施され、小学校における英語教育は「外国語活動」として設置されています。正式な教科ではありませんが、小学校における英語の指導について理解を深めておくことが求められます。「外国語活動指導法」は選択科目ですが、英語も担当できる教員を目指す学生が受講しています。

スクールサポーターやボランティア、インターンシップで学校現場での実践的な力を身につけます

神戸市、芦屋市、伊丹市、大阪市、堺市、京都市などが募集するスクールサポーターや学校ボランティア、学校インターンシップなどを通して毎年多くの学生が児童をどのように享受するかを学んでいます。

教育学科には、小学校教育コースの他に 幼児教育コースと心理学コースがあります

幼児教育コース

幼児教育や保育に重点をおいて学習・研究し、卒業後は幼稚園教諭あるいは保育士を目指す学生のためのコースです。

神戸女子大学附属高倉台幼稚園や神女中山手保育園、学内に開設されている「親子通所センター(子育て広場“あいあい”)」における実習など、実践的な授業が開講されています。

心理学コース

心理学に重点をおいて学習・研究し、心理学の素養をもとにして、心理職、教員、企業などを目指す学生のためのものです。

心理学研究の基礎となる統計法や研究法の科目、心理学の各分野を幅広く学習します。

平成24年度 科学研究費助成事業採択状況

平成24年度の科学研究費助成事業について、新規応募総数86,874件のうち24,673件が採択されました。本学園の採択件数は大学28件(継続17件、新規11件)、短期大学1件(継続1件)でした。

科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までの「学術研究」を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」です。独創的・先駆的な研究であるかの審査を経て採択された研究に対して助成が行われます。神戸女子大学の採択金額の合計は40,430千円であり、採択される件数は、増加の一途を辿っています。

種目	研究代表者	研究課題名
基盤研究(B)	文学部・教授 大谷 節子	能・狂言面の創出と派生に関する学際的研究
基盤研究(C)	文学部・教授 永瀧 朋枝	婦人雑誌にみる文学・ジェンダー・メディアの交差 ―藤村「処女地」執筆調査より―
基盤研究(C)	文学部・教授 松下 孝昭	近代日本の都市地域社会と市政 ―大阪・京都・神戸の比較研究―
基盤研究(C)	文学部・准教授 小原 依子	リハビリテーション病院等における音楽療法の効果判定に関する実践的研究
基盤研究(C)	健康福祉学部・教授 瀬口 春道	亜鉛・ビタミンE、Cの複合摂取による血圧上昇及び血管肥厚抑制効果
基盤研究(C)	文学部・教授 狩野 恭	ジュニャーナシュリートラ「主宰神論」の研究
基盤研究(C)	文学部・教授 今井 修平	畿内近国小藩領における大庄屋機能の研究 ―播州福本藩領瀬野金兵衛家の活動を中心に―
基盤研究(C)	健康福祉学部・准教授 曾田 里美	児童養護施設におけるライフストーリーワーク実践に関する基礎的研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 瀬口 正晴	グルテンフリー膨化食品の研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 堀田 久子	柑橘類搾汁残渣の有効利用について
基盤研究(C)	文学部・教授 木下 由紀子	世紀転換期における形而上的文化交流の形 ―岡倉天心とヴァージニア・ウルフの芸術観
基盤研究(C)	文学部・准教授 山内 晋次	硫黄流通からみた古代・中世の日本とアジア
基盤研究(C)	文学部・教授 大橋 喜美子	幼保一体化に向けた保育カリキュラム・モデルの構築
基盤研究(C)	家政学部・教授 山根 千弘	ナノ食品 ―木質ハルブから構造制御されて得た機能性食品材料―
基盤研究(C)	家政学部・准教授 大森 正子	脳機能維持・向上に関わる手芸活動の重要性に関する研究
基盤研究(C)	家政学部・准教授 高野倉 睦子	簡易型高齢女性サーマルマネキンによる着装時の人体 ―被服間の空気層の計測
基盤研究(C)	家政学部・教授 後藤 昌弘	ジャガイモの品種による物理化学的特性と食味におよぼす要因に関する研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 佐藤 勝昌	保育所における食物アレルギー児に対する給食の栄養評価に関する研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 栗原 伸公	カプサイシン、ジンゲロール摂取による高血圧予防のメカニズム
基盤研究(C)	文学部・教授 森 尚也	ベケット作品／草稿におけるテキストと図：ライブニッツの組み合わせ術と存在論の研究
基盤研究(C)	文学部・教授 三保 忠夫	宮内庁書陵部所蔵蔵書についての日本語学的研究
基盤研究(C)	文学部・准教授 吉村(森本) 真美	19世紀イギリスの植民地間ヒト移動と帝国ネットワークの形成
基盤研究(C)	文学部・准教授 野口 和美	米国ババリック・ディプロマシーにおけるフィランソピーと政府の連携に関する研究
基盤研究(C)	健康福祉学部・准教授 津田 理恵子	懐かしさを活用した生きがいの維持・向上 ―元気高齢者と虚弱高齢者への支援―
基盤研究(C)	健康福祉学部・講師 佐藤 誓子	食事管理を必要とする慢性疾患患者に対する保育所・学校の給食整備に関する研究
若手研究(B)	文学部・講師 鎌谷 かおる	日本近世における内水面の漁業権に関する基礎的研究
若手研究(B)	健康福祉学部・助教 松本 衣代	インドネシアにおける小児肥満予防／改善教育健康プログラム開発の試み
若手研究(B)	文学部・准教授 南 佑亮	構文理論の新しい可能性の探求 ―Pretty構文の分析を通して―
若手研究(B)	幼児教育学科・准教授 畠山 由佳子	市町村における「家族維持を目的とした児童虐待在宅支援実践マニュアル」の開発的研究

※ゴシック文字は今年度新規採択(11件)



古典芸能研究センター 新規データベースの公開

古典芸能研究センターでは、開設10周年にあわせて、所蔵する資料をもとに新たなデータベースを3件作成しました。

- 1 古典芸能研究センター蔵 能番組データベース
- 2 檜書店旧蔵版木データベース
- 3 喜多文庫民俗芸能資料データベース

古典芸能研究センターのホームページ(<http://www.yg.kobe-wu.ac.jp/geinou/>)に、データベースへリンクしているバナーがありますので、そこからそれぞれのデータベースをご覧ください。

1. 古典芸能研究センター蔵 能番組データベース

古典芸能研究センター蔵 能番組データベースは、センター所蔵の能番組に記載された曲目および演者情報を、検索可能なデータベースとして作成したものです。

能番組は能狂言の上演の歴史や役者研究にたいへん有用な資料です。センター所蔵の伊藤正義文庫の中には「幕末明治京都等能番組」と仮称している番組集があり、一千枚を超える番組に江戸後期の京都を中心とした能狂言の催しが記録されています。そこで、この番組集にセンター所蔵の他の番組を加え、広く能狂言研究に役立てることを目的として本データベースを作成しました。



2. 檜書店旧蔵版木データベース

檜書店旧蔵版木データベースは、謡本・能楽専門出版社の檜書店から古典芸能研究センターへ寄贈された版木3,364枚を公開することを目的としています。

センター所蔵の版木は、大半は近代のもですが、少数ながら近世のものもあります。檜書店は、近世末期に謡本書肆の山本 長兵衛から版権を譲り受けた本屋です。近世の版木は、その山本 長兵衛が使っていたものです。一方、近代の版木の多くは明治30年代に檜書店によって新たに作られました。他の謡本書肆が明治半ばから石版刷に移行する中、檜書店は大正4年まで木版刷の謡本を刊行し続けました。この最後まで使われていた版木もセンター所蔵の版木に含まれています。



3. 喜多文庫民俗芸能資料データベース

喜多文庫民俗芸能資料データベースは、平成4年に本学に寄贈された民俗芸能研究家の故喜多 慶治氏の長年に渡る調査資料群の公開を目的としています。

調査された芸能の中には、すでに廃絶したものや変容してしまったものもあり、たいへん貴重です。調査期間は昭和30年代から50年代まで、調査地は本州・四国・九州のほぼ全域に至ります。

データベースでは、平成12年に公開したスライド写真(9,381点)に加えて、新たにカラーネガ(11,939点)・白黒ネガ(28,700点)・ネガ不明の現像写真を公開しています。また、喜多 慶治氏の調査ノートも一部データ化して閲覧できるようにしています。

(古典芸能研究センター 山崎 敦子)



第26回管理栄養士国家試験合格者発表 合格率97.4%

平成24年5月7日(月)に第26回管理栄養士国家試験の合格発表がありました。

神戸女子大学家政学部 管理栄養士養成課程の卒業生154名全員が受験し、150名が合格、合格率は97.4%でした。全体の受験者総数は21,268名、合格者数10,480名で合格率は49.3%、このうち管理栄養士養成課程新卒者の受験者総数は7,946名、合格者数は7,277名(合格率91.6%)でした。

大学院情報

大学院生の研究が公益財団法人日本科学協会の笹川科学研究助成に採択される



学長室にて採択された研究内容の報告をする三科さんと指導教員の梶木 典子准教授



データを整理する三科さん

神戸女子大学大学院家政学研究科 生活造形学専攻 博士後期課程の三科 綾さんが公益財団法人日本科学協会の笹川科学研究助成(学術研究部門)(注)に採択され、平成24年4月19日(木)の授与式に出席しました。採択された研究題目は「児童館で実施する地域安全マップ活動の普及版制作と有効性の検証」です。

三科さんは、まちづくりにおける「子どもの参画」を視点に研究を進めており、その方法の一つとして、「地域安全マップ活動」を取り上げています。

地域安全マップ活動は、子どもが犯罪や災害から自分の身を守るために、住んでいる地域の特徴を知り、家族や地域の人とコミュニケーションを深めることができる活動です。

三科さんが開発・実践してきたプログラムは、改良を重ね、完成度が高まってきましたが、より広く普及させるまでに至っていませんでした。

今回の助成に採択された研究テーマでは、これまで実施してきた地域安全マップ活動を基本に、より広く普及させるプログラムとして開発し、子どもの日常的な遊び場である児童館で実践します。そして、この活動の有効性を検証します。

なお、採択された三科さんの研究は、自身の阪神・淡路大震災の経験をいかし、子どもの意見を聴く活動として子どもを主体としたプログラム開発を行っており、これからの時代には非常に有用になることが評価されました。

(注)公益財団法人日本科学協会が、昭和63年度から日本財団の助成金を受けて、科学研究の将来を担う人材の育成とその研究を奨励し、科学研究の振興を図ることを目的とした研究助成事業。他からの研究助成が受け難い研究で、萌芽性、新規性及び独創性のある内容をもった研究の全国的な掘り起こしを行っている。



採択授与式の会場前にて

活躍する学生たち

2011年度「学生ボランティア団体支援事業」 助成大学・団体に神戸女子大学 AMDA神女クラブが採択される

平成24年1月31日(火)京都の学生情報センター本社において、財団法人学生サポートセンター主催の2011年度「学生ボランティア団体助成」表彰式が行われました。学生ボランティア団体への支援表彰は毎年応募の中から選考委員会の厳正な審査を経て選ばれるもので、2011年度は全国の大学の中から60団体が選定されました。そのなかで、神戸女子大学の「AMDA神女クラブ」が2010年度の「V-net+」に引き続き2年連続受賞の快挙となりました。

表彰理由

1. 災害に見舞われた人々への募金活動
2. AMDA兵庫県支部の「AMDAネパール子ども病院」支援活動のお手伝い
3. 大学祭参加：募金活動とともにAMDAグループの国際協力活動や当団体の活動を広く知ってもらうための展示やシンポジウムの実施、ボランティア団体との共催フリーマーケットの実施
4. ワン・ワールド・フェスティバル(関西国際交流団体協議会)へのボランティア参加
5. 月2回のミーティングでAMDAの活動報告などを資料として国際貢献への理解を深めている



左より波田 重昭学長、AMDA神女クラブ代表の田中 碧さん(3年生)、前代表の藤川 美美さん(4年生)、吉岡 志津世教授(学年は受賞時)

学生プロジェクトプラン・コンペ2011 「みんなに知ってもらいたい!! 兵庫自慢プロジェクト」で 家政学部家政学科の学生が優秀賞を受賞

平成24年2月19日(日)兵庫県立美術館ミュージアムホールにおいて、大学コンソーシアムひょうご神戸 学生交流委員会主催の学生プロジェクトプラン・コンペ2011「みんなに知ってもらいたい!! 兵庫自慢プロジェクト」の最終選考会が開催されました。応募総数89件のなかから神戸女子大学家政学部 家政学科3年生(受賞時)の笹井 しおりさんが「輝く須磨づくり」というテーマで優秀賞を受賞しました。最終選考会ではパネル審査とプレゼンテーション審査があり、パネル審査では須磨海岸のアピールのために海岸の砂やイルミネーション模型など工夫を凝らした展示を行い審査員に対して丁寧に説明をしました。プレゼンテーション審査ではトップバッターという緊張にも負けず堂々とそして元気よく笑顔で発表したことにより、審査員から高評価を得ての受賞となりました。



表彰状を手にする笹井 しおりさん(左)と大学コンソーシアムひょうご神戸 学生交流委員会メンバーの梶木 典子准教授

「近畿フルーツ・レンジャープロジェクト」で 管理栄養士養成課程の学生が表彰される



神女大の受賞者を囲んでフルーツ・レンジャー、近畿農政局の方々、田中 紀子教授とともに記念撮影

平成24年3月2日(金)大阪市中央卸売市場業務管理棟大ホールにおいて、近畿農政局、日本園芸農業協同組合連合会大阪事務所主催の「近畿フルーツ・レンジャープロジェクト」表彰式が開催されました。大学生から提出された85件のアイデアの中から、新規性、独創性に優れ、果物の購買意欲や利用意欲につながり、実現可能なものといった観点から審査が行われ、神戸女子大学家政学部 管理栄養士養成課程1年生の栗 麻南美さんが近畿農政局長賞、他6名の学生が特別賞を受賞しました(注)。近畿農政局長賞を受賞した栗さんは「みかんは食べるだけじゃない皮にもこんな活用法が!」というアイデアを提案しました。みかんに関心がない人に、その魅力を伝える方法を考え、自分自身がみかんの香りが好きだということから、食べるだけではなく、みかんの皮まで有効に利用できることを美味しくそのみかんの絵入りの明るいPOPにしてアピールしました。栗さんは、近畿農政局長賞の他に、特別賞の「使いたいで賞」、「使えるで賞」、「審査員賞」も受賞しました。受賞した学生達のアイデアは、固定観念にとらわれない斬新な発想と若い感性が活かされたもので、日頃の学習している栄養に関する知識が融合されたものでした。

(注)受賞者と特別賞の内容

- | | | |
|----------|-------|--------------------------------|
| 栗 麻南美さん | (1年生) | 「近畿農政局長賞」「使いたいで賞」「使えるで賞」「審査員賞」 |
| 中本 典子さん | (2年生) | 「真新しいで賞」「審査員賞」 |
| 知野見 芽生さん | (1年生) | 「使えるで賞」「審査員賞」 |
| 榎 安佳利さん | (1年生) | 「実用化第1号で賞」「審査員賞」 |
| 大塚 華子さん | (1年生) | 「ベストレポート賞」 |
| 春日 菜摘さん | (1年生) | 「アクティブ賞」 |
| 中元 佳奈さん | (2年生) | 「ワンポイント大果賞」 |

(管理栄養士養成課程 学年は受賞時)



教育研究活動

国際交流

交流年表

(姉妹提携等)

1983年	ハワイ大学(米国)	2007年	チェンデラワシ大学(インドネシア)
1993年	ケント大学(英国)	2010年	ウダヤナ大学(インドネシア)
1997年	フライブルク大学(独国)	2010年	西安工程大学(中国)
2000年	華南師範大学(中国)	2010年	カセサート大学(タイ)
2006年	ガジャマダ大学(インドネシア)	2010年	高麗大学(韓国)
2006年	オークランド工科大学(ニュージーランド)	2011年	チェンマイ大学(タイ)
2006年	ピッツァー大学(米国)	2011年	カリフォルニア州立ポリテクニク大学ポモナ校(米国)
		2012年	アイルランガ大学(インドネシア)

タイ国立チェンマイ大学において初の文学部神戸国際教養学科「オフ・キャンパス・プログラムⅢ」を実施



英語の授業風景



タイ文化学習



チェンマイ大学プログラム責任者とタイ民族衣装で記念撮影

2011年1月に神戸女子大学波田 重熙学長は学生交流及び大学間の連携を促進するために、タイ国立チェンマイ大学と国際学生文化交流プログラムの覚書に調印しました。その第一歩となる文学部神戸国際教養学科の「オフ・キャンパス・プログラムⅢ」が実施され、5名の学生が9月から約6ヶ月間にわたる第1回目のプログラムに参加しました。

このプログラムは、チェンマイ大学語学研修センターでの英語及びタイ語・文化学習と現地でのインターンシップで構成され、タイにおける文化や社会についての知識を身につけることを目標としています。

前半の英語学習では、英語を母語とする教員から英語の4技能(listening, speaking, reading, writing)、観光英語、プレゼンテーションの方法について学び、タイ語の授業では、文字をはじめ会話を学習しました。タイ語会話の授業では、日常生活での会話を学び、実際に近隣のマーケットに出向き、タイ語を使う練習も行いました。タイ文化学習として、伝統舞踊を習い、11月のローイ・クワトン(灯籠流し)祭にて練習の成果である舞踊を披露しました。

冬休みには、バンコクなどに赴き、水族館、水上マーケット、寺院を訪問し、文化と歴史を学ぶなど有意義な時間を過ごしました。

後半のインターンシップにおいては、市内のホテル、チェンマイ大学語学研修センターでの日本語教授や国際センターでの事務の仕事に携わりました。

学生たちは、身近なアジアにもかかわらず情報が少なく、文化についても未知の部分が多いことから、自分の目でタイとはどんな国なのか確かめたくて参加を決めました。博物館を訪れることはもとより、文化遺産や史跡を積極的に見て回りました。

生活習慣は当然、日本と異なる面もありましたが、日常生活をともにするうちに、タイの方の心配りの細やかさや目上の人に対する礼儀正しい態度にしばしば感心したということです。

滞在期間中に英語の力が上達し、タイ語で日常会話ができるようになりました。何よりも学生たちは自分自身の情報発信力が上達したと言っています。そして日本の文化、日本語の微妙な使い方についての知識をさらに多くもたなければならないと強く感じたようです。人とつながりは、はじめての出会いから大きく広がるものなのだという実感できたようです。

※オフ・キャンパス・プログラム：アジア・アメリカ・ヨーロッパにおける海外語学短期研修及び語学研修とインターンシップ組み込み型海外長期研修。海外スタディツアー。

インドネシア国立アイルランガ大学と「教育及び研究関連活動に関する覚書」を締結

神戸女子大学波田 重熙学長は、2012年5月16日にインドネシア共和国のスラバヤ市にあるアイルランガ大学との教育及び研究関連活動に関する覚書に調印しました。両大学の学生及び学術交流を促進することを目標とし、学生及び教員の共同研究、文化・学術交流が深まることが期待されます。

※チェンマイ大学：タイ王国タイ北部地域のチェンマイ市に設立された国立大学。1964年に設立された。

※アイルランガ大学：インドネシア共和国東ジャワ州スラバヤ市東スラバヤ区に本部を置く国立大学。1954年に設立された。

インドネシア国立ウダヤナ大学 医学部の学生が研修のため来学



左からコミンさん(Ni Nyoman Sri Adnyani)、アルタさん(I Made Subagiarta)、
チャンドラさん(I Gede Candra Kardana Noprasetyo)、ウタさん(Made Utari Rimayanti)



バリ島における旅行者医療の現状についてプレゼンテーションを行う

2012年1月23日(月)～2月23日(木)の1ヶ月間、本学との大学間教育研究交流提携を結んでいるインドネシア国立ウダヤナ大学医学部の学生4名が来日し、神戸女子大学健康福祉学部 of 梶原 苗美学部長指導のもと、講義、実験・実習に参加しました。

研修学生4名は、初めての場所ではいつも男性がチャンドラ、アルタ、女性はコミン、ウタという愛称で自己紹介し、本学の学生と研修初日から愛称で呼び合うなど打ち解けた雰囲気での交流が始まりました。

彼らは、社会福祉・健康スポーツ栄養の両学科の専門科目のいくつかを受講するとともに、健康スポーツ栄養学科の学生とインドネシアの公衆衛生



「生活支援技術I」(津田 理恵子准教授担当)で、介護の技術を学ぶ

医療についてディスカッションを行い、梶原学部長や谷口 洋客員教授、ゼミ生たちにバリ島における旅行者医療の現状についてプレゼンテーションをしました。須磨キャンパスでは、日本語日本文学部の学生に日本語を学び、他学科の留学経験のある学生とも交流を深めました。学外では、神戸大学附属病院や民間の医療機関の臨床現場での研修により実態を学びました。

学内や地域連携のイベントにも参加し本学の学生や地域の方々との交流を深めました。ぎっしり詰まったスケジュールの合間に、子どもの頃からレッスンを受けていたバリダンスを須磨・ポートアイランドの両キャンパスで披露。指先まで神経の行き届いた本格的なバリダンスに本学の教職員、学生は盛大な拍手をおくりました。

研修生たちは、明るく陽気で、何事においても積極的に興味をもって取り組んでいました。日本語会話力の上達は目覚しく(元々勉強してきたようですが)、その姿勢は見習うべき点が多く一緒に学んだ本学の学生も短期間ではありましたが、有意義な時間が過ごせました。日本で学んだ知識を今後の自分たちの学習に生かしてさらに大きく飛躍されることでしょう。インドネシアに親しみ、ウダヤナ大学との交流が深まった1ヶ月でした。



バリダンスを披露



※ウダヤナ大学：インドネシア共和国バリ島デンパサールにある国立大学。1962年に設立された。

ウェディングドレスショーを開催

平成24年1月24日(火)ポートアイランドキャンパスA館のエントランス正面の階段(通称シンデレラ階段)において、神戸女子短期大学総合生活学科 被服製作ゼミ主催のウェディングドレスショーが開催されました。古田 貴美子専任講師のもと、ゼミの学生14名が、総合生活演習の1年間の学習の成果としてウェディングドレスを披露しました。

学生たちはそれぞれに個性あふれるドレスをデザインし、イメージに合った素材を選び、世界にひとつだけの自分のドレスを作り上げました。

神戸女子短期大学 長瀬 荘一学長をはじめ男性教職員にエスコートされシンデレラ階段を降りていく学生の表情は誇らしげで、見学に来ていた学生たちからは「あのかわいいドレスが着たい」という声があがっていました。



ショーの後、シンデレラ階段前で記念撮影

きものショー「きものくり～敦盛から始まる～」を開催



きもの原型を借用した平敦盛(中央) 浮世絵を参考にしたうすもの美人(中央右)

平成24年2月19日(日)神戸市須磨区離宮西町の神戸迎賓館ヴィスカヤガーデンにおいて、神戸女子大学家政学部 家政学科 被服平面構成研究室(岡本 陽子教授)主催のきものショー「きものくり～敦盛から始まる～」が開催されました。

オープニングでは、大陸の影響から脱却して、きもの原型が平安時代に確立したことから、須磨にゆかりの「平敦盛」が、学生手作りの“きもの原型”の装束で登場しました。気品溢れる衣装と、モデル学生の凛とした美しい姿に観客は目を奪われました。

第1部では「うすもの美人～夏の涼装～」と題して、節電に対する知恵を昔の衣生活に求めた事の説明の後、「明石縮」が登場しました。

第2部では「おでかけ日和～ちょっとそこまで～」と題して、アンティークきものブームのきっかけとなった「銘仙きもの」の模様に関する研究成果を紹介し、数々の「銘仙きもの」が登場しました。さらに、銘仙きものをアレンジした新しい着こなしも紹介しました。

定員150名の会場は立ち見の観客がでるほどの賑わいをみせ、華やかでありながら上品なきもののもつ魅力を十分に堪能できるショーとなりました。



新潟県の生産者から借用した明石縮



戦後の銘仙きものを着て続々と登場する学生



昭和30年代の雑誌を参考にポーズする学生

入学を祝う 歓迎セレモニー

神戸女子大学

平成24年4月4日(水)神戸ポートピアホールにおいて平成24年度入学式を挙行了しました。

式典後は、同好会「放送研究会SGBC」の司会・進行による「歓迎セレモニー」が開催されました。大学紹介、各学科の先輩からのメッセージ、神戸女子大学管弦楽団によるミニ・コンサートなど、あたたかな気持ちが伝わる手作りの歓迎セレモニーとなりました。



歓迎セレモニー ミニコンサートの様子

神戸女子短期大学

平成24年4月3日(火)神戸ポートピアホールにおいて第63回入学式を挙行了しました。

入学式終了後、歓迎セレモニーとして、指揮・延原 武春氏のテレマン室内オーケストラ(大阪市)による「歓迎コンサート」を開催し、学生生活のスタートに華をそえました。



テレマン室内オーケストラによる演奏

神戸市立須磨離宮公園で家政学部家政学科のオリエンテーリング開催

平成24年4月19日(木)神戸市立須磨離宮公園で神戸女子大学家政学部 家政学科の専門科目「家政学を学ぶ」(注1)の第2回の授業で、1年生全員104名、サポーターの上級生15名、家政学科の教員と助手17名でオリエンテーリングが行われました。

家政学科では平成12年から毎年入学直後のこの時期に、新入生と教員の親睦をはかり、学生同士のコミュニケーションを深めるために、離宮公園でオリエンテーリングが行われています(注2)。

当日は天候に恵まれ、真っ赤なチューリップが満開の園内で、最初に山村 治園長から離宮公園の沿革や見どころについての説明をしていただきました。

グループに別れて昼食後、オリエンテーリングが始まりました。所定の時間内にチェックポイントを回り、ポイントに待機した教員のクイズに正解すると、教員とじゃんけんする権利を獲得、その勝ち負けで得点を付け、所要時間で順位が決まります。

当日は休園中、この授業のために入園を許可され、広い離宮公園を汗ばみながら隅々まで歩くうちに学生同士は一層親しくなり、教員との会話ははずみました。最後に高得点の3グループに記念品が贈られ終了となりました。

離宮公園の美しいたたずまいは、学生、教職員の癒しの場としての効果が絶大であり、特に住空間を学ぶために入学した学生にとっては、都市における公園の効用について考えるきっかけとなったことでしょう。



山村 治園長から説明を受ける学生



オリエンテーリングの様子



家政学1年生と教員の集合写真

(注1)家政学科の専門科目を多角的・総合的に学ぶ導入教育。毎週、グループに分かれて各研究室を巡回し、教員の専門分野について学ぶ。

(注2)神戸女子大学と神戸市立須磨離宮公園は、平成18年12月に協定を結んだ。隣接する地理的条件を生かし、本学の教職員と学生に離宮公園を教育・研究の場としての使用が承認されている。

英語演劇鑑賞の夕べ

ウィリアム・シェイクスピア作「マクベス」公演

平成24年5月15日(火)神戸女子大学須磨キャンパス体育文化ホールにおいて国際・シアターカンパニー(International Theatre Company, London 以下ITCL)によるウィリアム・シェイクスピア作『マクベス』が、610名の観客をお迎えし上演されました。



ITCLの公演は、地域連携活動の一環として毎年開催しており、観劇を楽しみにしていただいている方が多いイベントです。今年で7回目となります。英語英米文学科の学生が中心となって、看板作成、照明、アナウンス、受付といった運営を行いました。

『マクベス』のストーリーに相応しい迫力ある演技に目の離せない舞台となりました。今回の『マクベス』でシェイクスピアの4大悲劇は神戸女子大学で全て上演されたこととなります。



全て学生が運営しました(受付の様子)

神戸女子大学の学生のデザインによる「オリジナルワインラベル」が神戸6ホテル グランシェフ チャリティーランチに登場



ワインラベルのデザインをもつ村上さん

平成24年3月1日(木)～5月6日(日)の間、東日本大震災遺児支援のため「KOBEホテル6社会(注)」が企画するグランシェフ チャリティーランチと共に販売されたワインに、神戸女子大学家政学部 家政学科4年生の村上 綾美さんのデザインしたラベルが採用されました。昨年11月に学園内で募集したデザインのなかから、KOBEホテル6社会により選出されました。

村上さんは、この企画が「あしなが育英会」を通して東日本大震災遺児の支援に役立つことを聞き、阪神・淡路大震災から復興をとげた神戸の地から東日本復興の支援の一助となる事を願ってデザインしました。復興への道のりは木が成長する姿のようであり、デザインの中心を4色のハートの木としました。赤はポートタワー、緑は神戸市のマーク、青は錨、ピンクには人が手を取り合っている絵が描かれています。両脇には、パンを手にしたシェフたちが、ハートの木が大きく育ち、新たな芽が育つように愛を注ぐ構図とし、神戸から東日本の被災地への想いを表現しました。



グランシェフチャリティーランチで販売されたワイン

(注) KOBEホテル6社会(神戸6ホテル)とは

- ANAクラウンプラザホテル神戸
- 神戸ベイシェラトン ホテル&タワーズ
- 神戸メリケンパークオリエンタルホテル
- オリエンタルホテル
- 神戸ポートピアホテル
- ホテルオークラ神戸

ポーアイ4大学による連携事業 -ポーアイ健康推進プロジェクト-

第14回「介護食を豊かに～介護食の作り方と食事介助の方法～」講演・実習を開催

平成24年2月4日(土)神戸女子短期大学ポートアイランドキャンパスにおいて第14回「介護食を豊かに～介護食の作り方と食事介助の方法～」講演・実習を開催しました。神戸女子大学健康福祉学部 社会福祉学科の横山 正子教授と神戸女子短期大学食物栄養学科の今本 美幸准教授の指導のもと、参加された30名の方は「ゼリー食などの介護食の作り方」や「安全な食事の方法」の講義を、高齢者用弁当の試食をしながら学ばれました。



高齢者用弁当を使って食事介助の体験

第10回「男性のための料理教室」を開催



調理風景

平成24年2月22日(水) 神戸女子短期大学ポートアイランドキャンパスにおいて第10回「男性のための料理教室」を開催しました。神戸女子短期大学総合生活学科の中尾 美千代専任講師の指導のもと、ポートアイランドに居住する60歳以上の男性20名の方が「健康の維持・増進と病気予防に対する自己管理の促進」を念頭に、手軽に作れる洋食に挑戦されました。完成した料理をアシスタントの学生と共に試食され、和やかな雰囲気うちに終了しました。

「慢性腎臓病(CKD)といわれたら～CKD克服のために～」調理実習と講演会を開催

調理実習

平成24年2月25日(土)神戸女子短期大学ポートアイランドキャンパスにおいて「家庭で行うCKD治療食のポイントと調理実習～低たんぱく食品を使ってみよう～」を開催しました。神戸女子短期大学食物栄養学科の今本 美幸准教授の指導のもと、参加された25名の方はCKDの食事療法や、カリウム制限が必要な場合のカリウムが多く含まれる野菜の調理方法などの説明を受けられました。その後、アシスタントの学生の助力を得ながら治療食メニューの調理実習を体験されました。



調理前の講義

講演会

平成24年2月26日(日)神戸ポートアイランドにある臨床研究情報センターにおいてCKDの最新治療法と食事療法の基本についての講演会が実施され、約120名の方が参加されました。講演会は財団法人先端医療振興財団 先端医療センター病院管理課の近藤 隆彦課長代理の挨拶から始まり、先端医療センター病院の管理栄養士である三浦 由美子氏が「腎臓を守る食事療法の



今本准教授、ボランティアの学生、先生方と記念撮影

ポイント」について説明されました。続いて、京都大学大学院医学研究科特定准教授で先端医療センター腎臓・血液浄化領域グループの笠原 正登医学博士により「今からでも出来るCKD治療」という題目で講演されました。また、講演の合間には今本准教授も参加した栄養相談がありました。会場には腎臓病の治療食が展示され、治療食の提供や試食会も行われました。



三浦 由美子氏



笠原 正登医学博士

須磨ニュータウンてくてく探検隊Happyカメラマン ～小学生がふるさとの須磨ニュータウンを“記憶”にのこすワークショップ～を実施

平成24年2月4日(土)須磨区との地域連携協定により、「須磨ニュータウンてくてく探検隊Happyカメラマン～小学生がふるさとの須磨ニュータウンを“記憶”にのこすワークショップ～」を神戸女子大学家政学部 家政学科の梶木 典子准教授のゼミ生を中心とした学生21名が開催し、4～12歳までの子どもたち8名とその保護者4名が参加しました。



お姉さんに手伝ってもらい
お気に入りの場所を額縁に合わせて撮影



「須磨ニュータウン展」で展示された写真と額縁

最初に子どもたちは自己紹介と「お父さんやお母さんが子どもの頃、よく遊んだ場所や遊び」について発表しました。続いて家政学科作製の「まちづくり学習絵本」を使いニュータウンについて学び、写真撮影用の額縁を自分で作りました。そして、まち探検に出発し、きれいな景色や面白い場所を探して額縁にあわせて撮影しました。

探検終了後は各自お気に入りの1枚を選び、選んだ理由、感想を発表しました。最後に「てくてく探検家」の認定証を梶木准教授から手渡されて終了となりました。

写真と額縁は、探検した感想もあわせて2月9日(木)～14日(火)の間「須磨ニュータウン展」において展示されました。



参加者全員で認定証を持ち記念撮影

NPO法人「輝たかくら台」に感謝状を贈呈



「輝たかくら台」の皆様との記念撮影

平成24年2月16日(木)須磨キャンパスにおいて、神戸女子大学波田 重熙学長から、NPO法人「輝たかくら台」(かがやきたかくらだい)に、感謝状が贈呈されました。

「輝たかくら台」の理事長であり高倉ふれあいのまちづくり協議会委員長でもある玉森 たりほ様と3人の代表の方においでいただき、本学からは波田学長、地域連携推進委員会委員長の齊山 美津子教授、「ふれあい給食」の開始に尽力された駿河 明子元教授、現在の運営担当の清水 典子准教授、大西 富子専任講師が出席し、永田 哲朗事務部長の司会で感謝状の贈呈が行われました。

神戸女子大学が平成17年から始めた近隣の一人暮らしの高齢者の方を対象とした「ふれあい給食」は、神戸市社会福祉協議会からの感謝状を授与されるなど高い評

価を得ています。

「ふれあい給食」は、「輝たかくら台」の皆様と本学との両輪で運営してきました。「輝たかくら台」の皆様はこの事業の開始にあたっては、ニーズの調査、来ていただく高齢者の方への事業の紹介や参加案内をしていただきました。現在、「ふれあい給食」は定期的で開催されていますが、「輝たかくら台」の皆様は、参加者の出欠確認や和やかな会場の雰囲気づくりなど大きな役割を果たしておられます。

中大連携教育交流を実施

平成24年2月14日(火)神戸女子大学須磨キャンパスにおいて、神戸市立高倉中学校の2年生135名と引率の先生10名を迎えて中大連携教育交流を行いました。

最初に、受講体験として通常の講義時間(90分)を半分に分け、神戸女子大学家政学部 管理栄養士養成課程の山本 勇教授が「微生物について」、瀬口 正晴教授が「パンについて」の講義を行いました。山本教授の講義のあと、瀬口教授の研究と講義の内容に関係のある「カルカデパン」を参加者に配布しました。瀬口教授の講義が終了すると、今度は実験室に移り山本教授の講義で勉強した微生物を光学顕微鏡で観察したり、食品加工実習室でパンを焼いている現場や図書館を訪れて書架、スタディールーム、アートギャラリーも見学しました。こうした教育交流が中学生の皆さんにとって将来の夢につながるものを見つける契機になれば、と願います。



図書館で地域連携推進委員会委員長 齊山 美津子教授の説明を受ける高倉中学校の皆さん

図書館で地域連携推進委員会委員長 齊山 美津子教授の説明を受ける高倉中学校の皆さん

CODE SOUVENIR KOBE+NAGOYA 公開プレゼンテーションに家政学部家政学科の学生が参加

平成24年2月17日(金)神戸商工貿易センタービルにおいて開催された「CODE SOUVENIR KOBE+NAGOYA」(神戸市主催、クリエイティブ・デザインシティなごや推進事業実行委員会共催)で、スーベニア(お土産)のプレゼンテーションに神戸女子大学家政学部 家政学科の来海 素存専任講師のゼミ生が参加しました。

神戸市と名古屋市は平成20年10月にユネスコ創造都市ネットワーク(注1)のデザイン都市に認定されました。デザイン都市が平成22年から行っている「CODE—都市のアイデンティティ(注2)」を探る事業の一環として、観光客への歓迎の気持ちと記憶に残るその都市ならではのお土産を学生が提案するという企画がありました。今回、各都市から5大学、合計10大学(注3)が参加し、本学からは「こうべさんぽ」というアルバムつき観光ガイドをプレゼンテーションしました。

「こうべさんぽ」は自分へのお土産をテーマとし、ターゲットは女性の旅行客です。人気の3エリアを手書きの地図にして、お薦めの店や穴場のスポットを紹介。思い出の写真を取るアルバムにもなり、写真を飾るスタンドとしても活用できます。また、ポートタワー型ケースに入ったエコバックも付いており、旅行中のみならず帰宅後も使えます。学生が、「神戸市」の長所を考え、お土産を作ることで、地域貢献と情報発信の良い機会になりました。



「こうべさんぽ」展示の様子



ガイドブック



プレゼンテーションする学生

(注1)ユネスコ創造都市ネットワークとは、グローバル化の中でも文化的表現の多様性をめざすユネスコが、文化的な産業の振興により都市の活性化を目指す「創造都市」の連携と相互交流を支援するために2004年に創設したもの

(注2)「CODE」は、City Of DEsign(デザイン都市)を表し、また、個々のUNESCO DEsign Cityが持つ独自のコード(記号/シンボル)も表しています。

(注3)神戸市から参加の大学 神戸芸術工科大学、神戸夙川学院大学、神戸山手短期大学、流通科学大学、神戸女子大学
名古屋市から参加の大学 愛知淑徳大学、椋山学園大学、名古屋芸術大学、名古屋工業大学、名城大学

学 園 からのお知らせ

○Smile 空間プロジェクト ぼうさい甲子園 東日本大震災支援特別賞、青少年を地域で讃える賞を受賞

かまぼこ板をカラフルに彩色した仮設住宅の表札を作る活動を続け、東日本大震災の被災地でもボランティア活動をした「Smile 空間プロジェクト(注1)」のメンバーは、「ぼうさい甲子園(注2)」で「東日本大震災支援特別賞」と神戸市須磨区青少年育成協議会からの「青少年を地域で讃える賞」を受賞しました。

かまぼこ板表札を贈った方から平成24年5月に、お礼にお手製の「神戸女子大学丸」のボトルシップをいただきました。須磨キャンパスのM館玄関に飾っています。

(注1) 神戸女子大学家政学部 家政学科 上野 勝代教授の平成23年度ゼミ生、学部生7名と大学院生2名で構成されていた。

(注2) 阪神・淡路大震災の経験と教訓を未来に向かって継承していくため、学校や地域で防災教育や防災活動に取り組んでいる子どもや学生を顕彰する事業。主催は毎日新聞社、兵庫県、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構



波田 重熙学長に上野 勝代教授と一緒に
受賞の報告をしました



ボトルシップをお礼にいただいたことを
波田学長に報告する
「Smile 空間プロジェクト」元代表前田 泰子さん



「神戸女子大学丸」と命名された帆船が
瓶の中に入っています

○平成24年春の叙勲受章者について

政府は4月29日(日)付けで平成24年春の叙勲受章者を発表しました。行吉学園関係では次の2名の方が受賞されました。

瑞宝中綬章 奥山 晃弘 神戸女子短期大学名誉教授
瑞宝小綬章 森野 茂樹 評議員(元行吉学園 法人本部長)

※森野 茂樹氏には、行吉学園表彰規定により受賞祝金が贈られました。



受賞のお祝いを贈られた
森野評議員(左から3番目)

○兵庫県の表彰について

兵庫県自治賞(教育功労)を神戸女子大学附属高倉台幼稚園小林 美佐子園長が受賞されました。授賞式は、平成23年12月7日(水)兵庫県公館大会議室で執り行われました。

○名誉教授称号授与式

平成24年6月14日(木)に神戸ポートピアホテル南館「ルビーの間」において神戸女子大学の名誉教授の称号授与式が挙行されました。

本年度の神戸女子大学名誉教授の称号は、河上 誓作先生に授与されました。

式典では神戸女子大学の波田学長から称号記が授与され記念写真撮影後、和やかに懇談が行われました。

河上 誓作先生の教育・研究業績

英語の語用論および認知言語学の研究における第一人者。アイロニー表現の裏に隠された認識と言語のメカニズムを探る。大阪大学大学院文学研究科長・文学部長(平成13～15年)を経て、平成16年から神戸女子大学教授、大学院文学研究科長、平成17年神戸女子大学の学長就任(平成20年まで)。日本英語学会会長(平成8～12年)。大阪大学名誉教授。



河上先生を中心に
名誉教授称号授与式の記念写真

○平成23年度 博士学位授与者

平成24年3月15日(木)に博士(日本史学)の学位が1名に授与されました。

<課程博士>

渡部 典子(神戸女子大学大学院文学研究科 日本史学専攻) 指導教員:川森 博司教授

論文題目:「造り物行事の民俗学的研究 -法勝寺一式飾りの変容過程を中心に-」

行事日程

7月

3	火		<ポートアイランドキャンパス> すいか祭
5	木		<家政学研究科>博士前期課程 推薦選考
7	土		学内編入学試験
12	木		<須磨キャンパス> すいか祭
16	月	海の日	
21	土		オープンキャンパス
24	火		<大学>補講・追再試験等(8月10日まで) <短大>前期定期試験期間開始
30	月		<大学・短大>前期授業終了

8月

3	金		社会福祉学科1回生授業科目通常授業日
4	土		オープンキャンパス(5日まで)
10	金		<大学・短大>前期定期試験・補講期間等終了
11	土		<大学・短大>学生夏季休業(9月20日まで)
13	月		全学一斉休業(16日まで)
18	土		オープンキャンパス(19日まで)
31	金		<短大>定期試験結果・追再試験発表

9月

4	火		<短大>前期追再試験(7日まで)
6	木		<大学>前期科目最終成績可否発表
17	月	敬老の日	
21	金		<大学・短大>後期授業開始
22	土	秋分の日	

10月

8	月	体育の日	
13	土		AO入試(二次)、一般編入学試験

11月

3	土	文化の日	
10	土		公募制推薦入試前期A・B、神女ファミリー入試、自己推薦入試
11	日		指定校特別推薦入試、公募制推薦入試総合基礎マーク式(短大のみ)、社会人特別入試
11	日		創立記念日
16	金		大学祭準備(休講)
17	土		大学祭・学園祭(18日まで)
23	金	勤労感謝の日	

12月

8	土		公募制推薦入試後期
21	金		<大学・短大>年内授業最終日(授業開始1月7日~)
23	日	天皇誕生日	
24	月	振替休日	
29	土		全学一斉休業(1月3日まで)

1月

1	火	元旦	
7	月		<大学・短大>後期授業開始
14	月	成人の日	
17	木		阪神・淡路大震災 鎮魂の日
19	土		<大学・短大>大学入試センター試験(20日まで)
22	火		<大学・短大>一般入試前期(23日まで)
24	木		<短大>後期定期試験期間開始
26	土		<短大>ブルーム展(31日まで)

表紙写真

クイーン・エリザベス Queen Elizabeth

「クイーン・エリザベス」

バラは英国の国花で、庭に植えられるだけでなく、ポプリやハーブティー、ローズウォーター等生活に根差した存在です。

今年86歳のエリザベス2世は、「国民に親しまれる王室」を目指して活動され、人気が高いイギリス史上最高齢の君主で、ビクトリア女王に次ぐ在位期間となりました。5月16日から20日にかけて、天皇皇后両陛下が即位60周年祝賀行事のため、渡英されました。1953年の戴冠式に、当時19歳の天皇陛下が昭和天皇の名代として出席されてから、女王に会われるのは今回が8回目です。

この戴冠式を記念して、翌年1954年に捧げられたバラが、「クイーン・エリザベス」です。須磨離宮公園の「王侯貴族のバラ園」では、ひと際樹高が高く、バラ園を見守るように咲きます。花は明るいピンク色の大輪で、花びらが丸弁のカップ咲きです。このバラは、世界41ヶ国のバラ会が、3年に一度開催する世界バラ会議の内、1978年に南アフリカ共和国で開催された第4回大会において、「バラの殿堂」に選ばれた名花です。「クイーン・エリザベス」の隣には、母であるエリザベス王太后に捧げられた「クイーン・マザー」も植えています。須磨離宮公園にあるバラの英国王室をご覧になりませんか。

神戸市立須磨離宮公園 園長 山村 治



編集後記

夏がやってきました。昨年から引き続き節電を求められ、暑さを乗り切るための工夫を皆様も日々お考えのことと存じます。

2012年は天体ショーの当たり年です。5月21日の金環日食、6月6日の金星の太陽面通過、8月14日には金星食と続きます。一連の天文現象を日本で、今年のような好条件で見ることができるのは、随分先になります。宇宙へのロマンを感じ、天体ショーを観察できる年に生きていることがとても幸運な気がします。

日々、目の前にある課題を考えることに精一杯になりがちですが、時には宇宙に思いをはせ、日常生活とは異なった世界のことを考える時間をもつこともリフレッシュになるかもしれません。

7月下旬にはロンドンオリンピックが開幕し、日本人選手の活躍が期待されます。東日本大震災で大きな被害にあった日本に、きっと活力を与えてくれることでしよう。

今回発行のCROSSROADS vol.14も多くの学内、学外の方のご協力によって完成いたしました。関係者の皆様に感謝申し上げます。今後も読者の皆様に喜んでお読みいただける紙面作りを目指してまいります。

(M.O.)

神女広報 CROSSROADS vol.14 2012年7月発行

編集・発行 学校法人行吉学園 学園情報センター 学園広報担当
〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-7-2
TEL:078-303-4790 FAX:078-303-4713
ホームページアドレス <http://www.yg.kobe-wu.ac.jp/>
Eメールアドレス gakuenkoho@yg.kobe-wu.ac.jp
印刷 交友印刷株式会社

※「神女広報」へのご意見、お問い合わせなどお寄せください。



学校法人行吉学園



神戸女子大学



神戸女子大学大学院



神戸女子短期大学



神戸女子大学教育センター

vol.14
2012 Summer

「自立心・対話力・創造性」活力あるコミュニケーションで結ぶ

神女広報

CROSSROADS